

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（中央・九十九里部会）		
タイトル	特別史跡「加曽利貝塚」と貝塚公園の秋を訪ねる		
実施日時	平成 30 年 9 月 4 日（月）9 時 30 分～14 時 30 分		
実施場所	千葉市		
受講者	名	F I C 会員他スタッフ	13 名

活動の内容

3 年ほど前に訪れたことがあります。今回国の特別史跡（国宝と同格、縄文期の特別史跡は全国で3カ所目）に指定されたのを機に、且つ新しい知見を取り入れてリニューアルされた加曽利貝塚博物館の見学も兼ねて再訪問しました。

最初に、加曽利貝塚ガイドの会会員の方の案内で、博物館の展示、竪穴式住居の内部、南貝塚の断面見学設備、特別史跡指定後に始められた新規発掘調査の現場等を 1 時間半ほど見学しました。近年、縄文時代の始まりが従来説から大幅に遡ったこと、縄文時代の時期区分が以前より遡るとの学説が主流になったこと、また人々とイヌとの関わり等々大変興味あるお話と見学でした。また加曽利貝塚の保存運動の歴史についても、皆さん認識を新たにされたことと思います。

後半は加曽利貝塚公園の秋の草花を中心とした植物観察です。ここは千葉市周辺で草原性の植物



遺跡の解説

物が観察できる貴重なフィールドです。南貝塚とその東に広がる草原、そこから坂月川に下る斜面にはそこそこに様々な秋の花が楽しめました。代表的な植物は、ゲンノショウコ、タチフウロ、ツリガネニンジン、ワレモコウ、キク科植物各種等。

最後に訪れた坂月川沿いの土手はうって変わって外来植物の楽園



タチフウロ

です。オオブタクサ、アレチウリ、オオオナモミ、セイバンモロコシ、アオゲイトウ、オオケタデ等々、その逞しさ、“偉容”には感嘆の声しきりでした。



オオケタデ



オオブタクサの“偉容”（坂月川にて）